

R3「先輩講話」（兼「メカジョ & メカ男子」第1回）

- 実施日時 令和3年12月10日（金） 第5・6校時 13:40～15:20
- 実施対象 本校第1学年（271名）
- 実施場所 第1学年各教室 ※ 校内オンラインにて実施（電子黒板を利用）

【講師】塚田 竹美 さん（第88回卒業生）

（株）本田技術研究所先進技術研究所 AD/ADAS 研究開発室 第1ブロック

🗨️ 例年、各界で活躍されている本校卒業生を招いて行われる「先輩講話」ですが、今年度は感染症対策の観点から、1年生限定かつ校内オンラインを利用しての実施となりました。

講師は本校第88回卒業生であり、本田技術研究所 先進技術研究所所属の 塚田 竹美さんです。本校在校中は弦楽部に所属・活躍されたという塚田さん。大学では理工学部航空宇宙工学科に進学され、現在は本田技術研究所（本田技研）で自動運転技術の開発に取り組んでおられるという、文字どおり第一線の研究者（技術者）です。

塚田さんには昨年度も、1・2年生希望者による「メカジョ&メカ男子」（工学系高校生養成講座）の講師としてご来校いただきましたが、理系のみならず文系の生徒にとっても、興味深く意義深いお話をいただきました。

もちろん今年度の1年生も少なからぬ知的刺激をいただいたことは、以下のアンケート結果（抜粋）からも明らかだと思います。



コロナ禍ゆえのオンライン実施だったことが残念でしたが（塚田さんも、後輩たちの反応と直に接したかった！と仰っていました）、たいへん意義深い時間となりました。講師の塚田さん、そして昨年度に続き全面的なご協力をいただいた本田技術研究所に対しまして、改めて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



設問 1 今回の事業の内容で、特に印象に残ったことは何でしたか。

- ①自動車の自動運転には完全自動運転と運転支援があること。完全自動運転が可能になって、事故がなくなるといいなと思った。②会社の中で3回の異動があったこと。大学で勉強したことプラス就職してからも勉強することは大切なんだと思った。
- その国々のお客様のニーズに合わせて車を作っていたところ。(特に驚いたのは、車体の色にまでこだわっていたところ)
- 中国の料金所の片側25車線。ドイツの高速道路で制限速度がない所で 260 キロ出す人もいるということ。インドで使われる車のクラクションは 1 年で壊れること。
- 企画からお客さんのもとに届けるまでのあいだに、さまざまな教科、科目が関係しているとわかったこと。
- 同じ職場で働いていても、所属が違うだけで求められる技術や知識が異なると知り、すごく大変そうだなと思った。
- 大人になって仕事に就いても、今自分たちが勉強したり、行事で学んだりすることが必要とされていること
- 大学でやりたいことが変わるかもしれないから、興味があればチャレンジするべきだと言うこと
- 進路の話の中で、進路を決めること＝入学する大学を決めることではなく、将来の生活スタイルを決めることだと言っていたことが印象的でした。
- 進路を決めるのに身の回りにある小さな事も鍵となる。
- 講師の方がその仕事にとってもやりがいを感じているのが伝わってきたこと。
- 人の役に立つ仕事に就きたいという夢を叶えているところと事故を減らしたいという熱意。
- もともと目指していた宇宙関係の職からホンダの自動車関係の職へ変えていること。自動車は開発するだけでもものすごく多くの過程があり、また法律などの改正も行っていると知り驚いた。
- やってみて、続けることの大切さ。

設問 2 この事業への参加を受けて、今後あなたが実践してみたいと思うことは何ですか。

- 興味を持ったことにはチャレンジした方がいい、とおっしゃっていたので実行したいです。
- 自分の好きなことや強みを見つけていく。
- 車関係の仕事について調べたり、将来自分が働きたいと思う仕事を調べたりしていきたいと思いました!!
- 進路を慎重に考えて選びたいと思った。
- 今まで自信がなくて挑戦できなかったものに積極的にチャレンジしていくこと
- 大きな目標を持ち、その目標を達成するために小さな努力を積み重ねていきたいと思います。
- 1 日に 2 時間以上勉強する(時間よりも質をあげ、短時間でも集中する)。
- 自動車の会社の中にも法律の知識などの様々な知識が使われていることがわかったので、今まで考えたことのないような仕事を調べてみたりなど、今よりも視野を広げてたくさんの進路を考えていきたいと思いました。

- まずは身近な疑問の探究をしたいと思ったが、普段あまりよく考えてないのでもっと身近な疑問を探したいなと思った。
- どういう新しい車の機能がうみだされているのかを確認したい
- 今勉強していることを将来使うかもしれないのでしっかり勉強しようと思った。
- 自分の興味のある分野をより詳しく調べてみたいと思った。
- 国語が大事だとおっしゃっていたので 国語をもう少し頑張ろうと思います。
- これから進む大学についてよく考えさせられる時間だったと思う。興味のある分野や、少し興味からずれた分野の大学などを調べたい。JRC 部の活動などを通して多くのことに挑戦し、多くの人に出会い話を聞いてみたい。
- 「物の構造などを積極的に調べる」など、物事をより深く掘り下げて、調べることをしていきたい。
- 身の回りの小さなことから興味のあることを見つける、苦手な科目もちょっとでも興味のあることを見つけ、楽しくなるようにする。
- 自動運転車に乗る。
- どうすべきか迷ったときに他人の意見だけで判断するのではなく、実際に自分でやってみて判断するようにしたいです

設問3 塚田さんに対するメッセージ. 質問などがあれば自由に記述してください。

- 塚田さんのように自分の好きなことができているのがとても素敵だと思いました。僕も大人になったら自分の好きなことができるように、今頑張ろうと思いました。
- 今回は貴重なお話ありがとうございました 🍀 ✨ 自分も小さい頃からの夢があり、それを叶えるため今は大学志望校合格を目指して頑張っています。まずは志望校合格、そして将来の夢を叶えられるよう頑張りたいと思います
- 最後の応援の言葉がとても心に響きました。誰よりも無謀な夢を持っていると自覚していたのに勉強に取り組めず自分に甘えていたので、頑張ろうと思えるきっかけとなりました。自分のやりたい事ができるように今頑張りたいと思います。また、本田研究所での自動車開発のお話も大変ためになりました。技術の発展が楽しみです。本日はありがとうございました！
- 貴重な時間をありがとうございます。学生としての目線だけでなく、社会に出て働く人としての目線からのアドバイス、とても参考になりました。
- レベル4の自動運転車の開発頑張ってください！
- 最初は文系を選択した自分には関係のない話かと思っていましたが、自動車の仕事でも、理系ばかりが役に立つわけでもないこと、仕事を始めてからも勉強が必要なのに驚きました。この話で、沢山のことにチャレンジして、経験を積みたいと思いました。
- 自分も何かを作るということに興味があるので今回の講話を聞いて進路についてとてもいい参考になりました。ありがとうございました。
- とても充実しているように見えました！ 私も辛いことを楽しいことに変えられるくらい、勉強したいです。ありがとうございました！

- お忙しい中、ありがとうございました。今学習していることが社会でも本当に役に立つのだなあと分かりました。自分も将来何をしたいかや、興味のあることについて考えながら頑張っていきたいです。
- 自動運転のゴールとは？
- 「学習は大学まで」となんとなく思っていたけど、社会に出てからも学ぶことが大事だと分かったので、普段の生活から色々なことに興味を持ち、自分から学ぼうとする思う気持ちを大切にしようと思った。

